

日本マス・コミュニケーション学会 第37期第3回研究会（理論研究部会企画）

テーマ：「ポスト・メディア時代の未来」

日時：2020年2月15日（土）／13:00～16:00

場所：桃山学院大学・梅田サテライト（大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビル8階）

問題提起：水嶋一憲氏（大阪産業大学）

討論：前田至剛氏（追手門学院大学）

司会：長崎励朗氏（桃山学院大学）

参加無料。事前予約不要。

趣旨

デジタル・テクノロジーやデジタル・ネットワークを、資本主義の議論の問題系の中に位置づけ、資本主義の変容とともにあるICTやSNSに代表されるようなコミュニケーション、そしてそれらの変容と向かい合うメディア研究のフレームそのものを検討することが、今回の研究会の目的である。

いうまでもなく、ICTの高度化やネットワークの多元的かつ重層的な編成は、私たちのデジタルメディア環境を形成し、それと相関するかたちでコミュニケーション・モードや、公共的コミュニケーションの空間の変容をもたらしてきた。こうした変容に対して、テクノロジーの進展や経済的メカニズムから外在的に説明するのではなく、メディアーコミュニケーションーテクノロジーの相互関係が資本主義と不可分に結びつく現在——ポスト新自由主義的状况において新たな分析フレームが問われている。コミュニケーション資本主義やプラットフォーム資本主義、あるいは監視資本主義等々と問題設定され議論が積み重ねられているが、近年、この分野で精力的に論考を著している水嶋一憲氏を招請する。水嶋氏の問題提起に対してインターネットの黎明期よりデジタルメディア社会論やCMC研究を進めてきた前田至剛氏による討論、両者の応答からさらにフロアーを含めたアップデートな議論を交叉させていきたい。

水嶋一憲氏：大阪産業大学教授。「コミュニケーション資本主義における個人と集団の変容」（伊藤守編『コミュニケーション資本主義と〈コモン〉の探求』（東大出版会）、「コミュニケーション資本主義と加速主義を超えて——横断個性の政治のために」（『現代思想』2019年9月号）など。共訳書にアントニオ・ネグリ／マイケル・ハート『帝国』以文社など多数。